

モニタリングの結果

ALPS処理水 モニタリングの状況

モニタリングの結果、海洋中のトリチウム濃度はいずれの基準も下回っていることがわかります。

通常モニタリングにおいてこれまでに観測された範囲 【海水】

放出開始以降に観測された範囲		トリチウム濃度 (ベクレル/リットル)
港湾外 3km圏内	2023年8月～2025年3月 に検出されたデータの最小値～最大値	0.043～50
沿岸20km 圏内	2023年8月～2025年3月 に検出されたデータの最小値～最大値	0.030～2.7 ※1,2
沿岸20km 圏外	2023年8月～2025年3月 に検出されたデータの最小値～最大値	0.068～0.15 ※2

※1:魚類採取点のデータを含む
※2:2025年2月までの値

出典:東京電力ホールディングス株式会社「ALPS処理水海洋放出における 海域モニタリングの状況について」
(https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/roadmap_progress/pdf/2025/d250828_18-j.pdf#page=11)より抜粋

海水のトリチウム濃度の比較[単位:ベクレル/リットル]

60,000	国の規制基準(放水口)
10,000	WHO飲料水水質ガイドライン
1,500	政府方針で示された海洋放出のトリチウム濃度の上限
700	放出停止判断レベル(発電所から3km以内の10地点)
350	調査レベル(発電所から3km以内の10地点)

詳しくはこちら

東京電力
処理水ポータルサイト



東京電力
包括的・海域モニタリング閲覧システム



環境省
ALPS処理水に係る海域モニタリング情報

